

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会議の名称	政策調整会議	
開催日時	平成28年8月8日 午前9時40分から 午前9時47分まで	
開催場所	市長公室	
出席者	<p>神田市長公室長、重岡危機管理監、村山総務部次長兼財産管理課長（上野総務部長代理）、内田市民環境部長、三田福祉部長、藪塚健康づくり部長、澤田都市建設部長、橋本会計管理者、佐藤水道部長、木村議会事務局長、嶋学校教育部長、島村生涯学習部長、塩野監査委員事務局長</p> <p>（事務局・担当課） 太田市長公室次長兼政策企画課長、関口同課主幹兼課長補佐、同課政策企画係芦原主査、同課同係臼倉主任</p>	
会議内容	1 平成28年度 朝霞市行政評価結果報告書	
会議資料	平成28年度 朝霞市行政評価結果報告書	
会議録の 作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁	
その他の 必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【議題】

1 平成28年度 朝霞市行政評価結果報告書

【説明】

（担当課：太田市長公室次長兼政策企画課長）

資料No.1「平成28年度行政評価結果報告書」は、平成27年度に実施した施策について、行政評価の概要を述べるとともに、施策評価シートを基本として行政評価結果について記述し、今後の改善について展望しているものである。

1ページから3ページは、行政評価の概要を記載している。

次に4ページは、施策評価について集計した結果を掲載している。

これは、25ページの一覧のうち、中柱の単位で、施策評価シートを作成していただきしており、合計95施策となっております。

（2）施策の分析の ①達成度については、「C このままでは、最終目標達成が難しい」施策が12で、前年より1施策増えており、③達成度と必要性のクロス分析において、「A ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にあり、かつ、C このままでは最終目標達成が難しい」施策が8で、前年より2施策増えている。

6ページから22ページまで、平成27年度の施策ごとの評価を大柱ごとにまとめて記載しており、合計32項目となっている。

こちらについては、複数の施策評価シートをもとに政策企画課で素案を作成したものを、各課で見直し、部ごとにとりまとめを行ったものである。

今回は、この内容についてご審議いただきたい。

23ページは行政評価結果の活用と改善について記載しているが、昨年度と内容に変更はない。

25ページには、施策評価結果を記号、黒丸などで一覧で示している。

なお、この報告書については、政策調整会議ののちは、市長の決裁を得て報告書として確定させるとともに、市議会へも配布をさせていただく。

【質疑】

（島村生涯学習部長）

各課長から施策評価シートの記入項目に関する意見が出ているか。

（太田市長公室次長兼政策企画課長）

特に意見はいただいていない。

平成28年度の評価から、第5次総合計画に合わせた様式に変更を考えている。

(島村生涯学習部長)

施策評価シートの作成にあたって、最終年度については単年度の評価ではなく5年間の総括評価となると以前に政策企画課から説明がされていたが、各課長に浸透していない状況が見受けられる。

次回に向けて留意していただきたい。

【結果】

原案のとおり決定とする。

【閉会】